

## 50mメッシュ平均標高データを用いた地形補正

### Terrain gravity correction using 50m mesh mean elevation data

# 本多 亮[1]; 河野 芳輝[2]

# Ryo Honda[1]; Yoshiteru Kono[2]

[1] 金大・自然; [2] なし

[1] Natural Sci. and Tec., Kanazawa Univ.; [2] nashi

重力測定データのリラクシオンのなかでも地形補正計算はもっとも計算量が膨大である。これまで金沢大学では国土地理院から提供されている500mメッシュ標高データを用いて地形補正処理を行ってきたが、最近の計算機性能の飛躍的な向上によってより詳細な地形データによる補正計算が実現可能になったと考える。そこで、従来の計算方法を踏襲しつつ50mメッシュ標高データによる新しい地形補正処理プログラムを開発した。新しい地形補正プログラムは海底地形による引力効果も計算でき、海域における測定データにも適用できる。海域の地形データは海上保安庁水路部により提供された500mメッシュ水深データを用いた。プログラム簡略化と将来海域でもより詳細な水深データが得られることを考慮し、水深データも50mメッシュに細分し陸海域一括で処理した。